

# 5 埼玉県学力・学習状況調査を活用した実践事例

「コバトンのびのびシート」を活用して、学力に課題のある児童生徒について学力や学習の状況を把握し、効果的な指導方法を話し合い、共有し、日頃の指導に生かす。

## 【A小学校の例】

**コバトンのびのびシート**

年度	正答率	レベル	伸び	伸び		伸び	伸び	伸び	伸び
				算数	国語				
年度	RO3	56.7	7-C	1	57.1	66.7	50.0	55.6	
年度	RO3	71.9	7-A	6	66.7	85.7	83.3	57.1	

  

【年・組・氏名】 6年2組9番 埼玉 ○○									
実力テスト(国語)					実力テスト(算数)				
国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
70	80	55	60	60	70	60	70	65	65
75	85	60	70	65	80	85	75	75	75

  

項目	内容	RO3	変化
学習方法(学習方略)	「主体的・対話的で深い学び」ができていたか	3.4	-0.7
	柔軟的 方略	学習の進め方を自分の状況に合わせて柔軟に変えている活動	3.3 0.0
	プランニング 方略	計画的に学習に取り組む活動	3.3 0.0
	作業 方略	ノートに書いたり、声に出したりといった作業を中心とした学習を進める活動	3.5 0.3
	人的リソース 方略	すぐにやり方や答えを聞かずに学習を進める活動	3.5 0.5
	認知的 方略	より自分の理解度を深めるような学習活動	3.5 -0.5
	努力調整 方略	「苦手」等の感情をコントロールして学習への意欲を高める活動	3.8 -0.5
非認知能力	学習意欲(算数)	算数に関心をもち、学習しようとすることができる	2.5 -0.9

  

**学習方略と非認知能力の変化**

**学力レベルの変化**

  

内容(特筆すべき質問項目を記入)	RO3
勉強することが楽しい、好きだから	どちらかといえば、当てはまらない
勉強でわからないところがあったら、勉強のやり方をいろいろ変えてみる	少し当てはまる
学級での生活は楽しかったですか	楽しかった
学校の宿題をしていますか	している

**のびのびシートから先生の眩き**

〇〇さん、話すこと・聞くこと、書くことの領域が弱いよね・・・どうしたらいいかしら？

**研修会や普段の職員室で**

〇〇さんの話すこと・聞くこと、書くことの領域を伸ばすにはどのような指導をしたらいいですか。

資料を提示しながら発表させる時は、資料のどこに着目してほしいかの説明を付け加えさせるといいよ。

私も、授業でそうしてみよう

スピーチメモを書くときに、簡単に説明したり、詳しく説明したりする部分を検討させるといいと思うよ。

場面や相手を意識して発表させるには、話す様子や聞き手を動画で撮影して、振り返るといいよ。

**効果検証**

例えば・・・

- 授業で行う小テストや単元テスト等の結果の分析
- 次年度の県学調結果の分析
- 全国学調結果の分析

**授業で実践**

**のびのびシートへの記録と共有**

大切なことは、教職員で、「コバトンのびのびシート」をもとに、よりよい指導方法について話し合いをして、それをみんなで共有することです。